



*学校便り作成にあたり、生徒の文章や写真を使用する場合があります。長田中学校個人情報取扱規程を遵守しておりますが、お気付きの点がありましたら学校までご連絡ください。

三連休は、加賀地区新人大会等！

～ソフトボール部は県新人、男バレ、男女ソフトテニス、陸上は加賀地区新人！～

明日からの3連休、ソフトボール部は金沢市営専光寺ソフトボール場で県新人大会、男子バレーボール部は津幡町総合体育館、男子ソフトテニス部（団体戦）、女子ソフトテニス部（個人戦）は小松運動公園末広テニスコート、陸上部は能美市物見山陸上競技場でそれぞれ加賀地区新人大会に出場します。大会で県や加賀地区の強豪との対戦する絶好の機会です。自分たちの実力を発揮して、今の力がどれくらい通用するのか試してみてください。健闘を祈ります！



連休が終わると演劇発表会まで、9日・・・

～さらに土日があるので、稽古できるのは実質7日です！～

今日も体育館舞台では、1年生の舞台稽古が行われています。舞台稽古では、役者の台詞や演技はもちろん、音響や照明、大道具や小道具の出し入れなど、台本に合わせていろいろなタイミングを合わせていきます。そこで、これまでの舞台稽古を見て、2つアドバイス。

1つ目は「観ている人を意識しているか、観ている人に伝えたいことが伝わる舞台になっているか」ということです。例えば、1人でも役者の台詞が小さくて何を言っているかわからなければ、観ている人は舞台の内容がわからなくなってしまいます。その原因の1つが台詞を言う位置です。集音マイクは舞台前から2m程度の声はしっかり拾いますが、そこから離れると途端に音を拾わなくなります。また、横や後ろを向いて台詞をしゃべっても同じように音を拾いません。役者はできるだけ、舞台の前方で前を向いて、できればマイクに向かって台詞を言うように心掛けてください。演出の関係で舞台後方や横、後ろを向いて台詞をしゃべる場合は、台詞が観ている人に届くようにもっと声を張る必要があります。また、場面転換で舞台を暗転にする際に、ガタガタと大きな音を立てて大道具を移動させたり、無音で暗転している時間が長かったりすると、観ている人の集中が途切れてしまいます。

2つ目は「タイミングの合わせ方」です。何をきっかけに、役者が舞台に登場して台詞をしゃべり始めるのか、音響が音楽や効果音を鳴らすのか、消すのか、照明がスポットライトやフットライトをつけるのか、消すのか、これらのことが明確でなければ、絶対にタイミングは合いません。基本的に会場は常に暗く、タイミングを目で見て判断することは難しいので、「音（台詞や音）」をきっかけにすることが多いです。例えば、台詞終わりで暗転しBGMがかかり、大道具を出し入れしてから中幕を開閉するなど、すべてが連動しています。流れるような連動は、舞台が自然に見え、観客はより舞台に引き込まれていきます。また、これができないと予定している上演時間で演じることができません。

生徒のみなさん、この三連休は大会等で忙しい人もいますが、これまでの稽古でいろいろと書き込んだ台本を何度も読み返してください。キャストは台詞と動きを、スタッフは役割分担とタイミングを確認して、来週からの演劇活動に臨みましょう！



【2回目の舞台練習に励む1年生の様子】